

月刊 利根日石新聞

第000173号
発行
利根日石株式会社 TEL 0278-24-1655
本社販表管理課 FAX 0278-23-9980



まだまだ寒さが厳しい2月ですが、暦の上では春がやってきます。雪が降り気温も低いのでどこに春がやって来たんだろう?と、思ってしまうかもしれませんが、少しずつ季節が春へ向かっていくのが2月なんですね。そんな2月のイベントといえば... 節分がありますね。豆まきをしたり、イワツヤ恵方巻きを食べたりしますよね。

恵方巻きはもともと関西地方の風習だったそうです。その頃は名前も「丸かぶり寿司」や「太巻き寿司」と呼ばれていたそうです。平成10年頃に大手コンビニエンスストアが全国販売する際に丸かぶり寿司「恵方巻き」という名前を販売したことで日本各地へ「恵方巻き」という名前と習慣が広まったといわれています。

最近では太巻きの寿司だけでなくロールケーキなども「恵方巻き」として販売されていますよね!

恵方巻向いて一本まるごと食べることで無病息災・商売繁盛の運を「気にしていた」ということを意味しているそうです。今年の恵方は「東北東」だそうです!

ちなみに群馬では昔、こんにやくも節分で食べられていたそうです! 食物繊維が豊富なこんにやくを食べることで体中の脂肪を取り除き身を清めると信じられていたそうですよ。

私も今年は恵方巻きとこんにやく料理を食べて無病息災をお祈りしようと思います。

何事も最初が肝心である年の初めに... 風邪をひいて寝込んでしまいました。

のどがイガラッぽいとか、頭が重いなどといった風邪をひく前の危険信号を無視していた

つけがまわってきたのでしょうか。『風邪』は万病のもと。と古くから言われてきたのを思い出

ました。風邪薬に頼ってごまかしていましたが、やっぱり体を休め十分な睡眠をとる

これが一番でした。これから寒い冬本番です。みなさんも気を付けて下さい。

去年からとっぴりハマっている卓球の初練習にも参加できずに、とても残念でした。

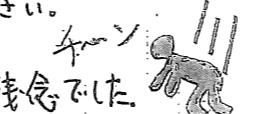
卓球は年齢をかさねても、かんぱり次第で活躍できるスポーツですし、20代から80代の卓球愛好者が、いっしょにできるのも良いところだと思います。

また、ダブルスも老若男女で組み、試合をするのもなかなか楽しいです。

のめり込みすぎると、たまにきづかぬので、自分の生活とか、健康とか、

それを整える事を趣味として楽しんでいこうと思います。

利根日石の卓球人口、99しです。



ENEOSでんきの 転換点?

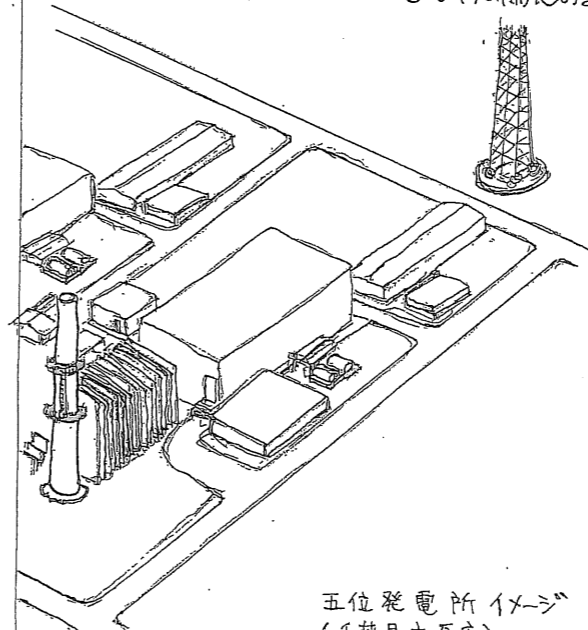
毎年、この新聞裏面の2月号はなぜか電気に関する記事ばかりという事に今更ながら気付きました。昔は太陽光発電の新年度補助金が決まるタイミングなのでその情報を、そしてENEOSでんきがスタートした2016年以降は冬季キャンペーンが毎年、開催されてきたので、その情報をお伝えしてきました。ただ2022年は世界的な資源価格の高騰に見舞われ、燃料油に対する国の補助金の情報についてお伝えしました。資源高を受けて電気代も高騰し、ENEOSでんきは高圧電気以上の新規契約を停止し、一般家庭用の電気についてはキャンペーンをその後2年間、見送らざる事になります。翌2023年は風向きが少し変わり、高止まりしてきた電気代、その中の「燃料油調整費」がピークを超えて、今後の電気代は落ち着きそう?という内容でした。

そして、今年の2月号でも、やっぱり電気に関する話題です。

実は5年ほど前からENEOSがJERA(東京電力と中部電力の出資会社)と共同で建設を進めてきた五位火力発電所がこの夏から運転を開始します。この発電所の稼働によりENEOSは新たに780,000kWの電力を得ることになります。ところで、780,000kWといわれてもどのくらいの規模なのかよく分からないですよね?

大規模な太陽光発電所のことを「メガソーラー」と呼びますが、「メガ」とは100万倍という意味で、言い換えれば、1,000倍のk(キロ)のさらに1,000倍となります。つまり、メガソーラーとは1,000kW以上の太陽光発電所を指します。ですので、780,000kWとはメガソーラー780ヶ所分という事になります(スゴい規模ですよね?)

また、「原簿1基分」という言葉も聞きますが、これは一般的に100kWを指しますので、今回の五位発電所はとてつもない規模ではありません。ただ、実際には大抵とてつもない、例えば北海道の泊原発電は579,000kW、東北の女川発電は825,000kWなので、ちょうどその間くらいの規模という事になります。設備はLNGを燃料とした高効率ガスタービンコンバインドサイクル方式の火力発電で、太陽光のように日中以外も安定して発電しますし、放射能の心配もありません。



五位発電所イメージ (千葉県市原市)

※五井エナジー・システムズ
合同会社(市原市)

いずみにしても、この五位発電所が運転開始するとENEOSの電気供給能力は今までの約1.5倍になります。こうした状況も踏まえて、約2年間停止していた高圧電気の新規受付を今月より再開することとなりました。高圧電気をご利用のお客様は是非、お問合せください。無料にて電気代削減のご提案をさせていただきます。

また、ENEOSはこの春、電気事業と都市ガス事業を分社化致します。「ENEOS Power 株式会社」という名前での新しい会社を設立して、今以上に、専断性と競争力を高め、ここからの時代に求められる、お客様にとって付加価値の高いプランを提案して参ります。

ENEOSでんきがスタートして今年で8年。電気自由化、各社の価格競争、コナチ、そして歴史的な資源高による電力逼迫と価格高騰と、大波・小波を乗り越えて、今年は新たなステージに入りそうです。

利根日石のENEOSでんき、今後とも宜しくお願ひ致します。